

刺倉幸一 とくらら 演劇評論家。明治二十八年五月七日京都生れ、昭和

六十年十月二十六日没（一九五十一）。筆名佐田止重、勝利藏、司見子、

岸茂人、志賀公達等。同志社大學中退。武者小路實篤の節事して新し

き村運動に参加。昭和初年より雑誌「演藝畫報」等へ寄稿。戦後二十

五年演劇出版社を設立。第二次「演劇界」編集長。

著書「支倉常長考」（昭和十六年十月）、二十二年建設社出版部）、「青々

園・伊原敏郎」（昭和十七年七月）、二十六年伊原榮刊）、「歌舞伎」（伊

原青々園共著、昭和十八年十一月）、二十九年弘文堂書房「教養文庫」）、

「十分間演劇脚本集・第一輯」（合著、昭和十九年九月序、大政翼賛

會文化動員部「勤勞藝能指導資料」）、武者小路「實篤脚本素人芝居の演出書」

（編著、昭和二十年四月二十日建設社）等。

